

『タブレット型パソコン活用上のルール』について

木津川市教育委員会

タブレット型パソコンは新しい時代の学びのツールの一つです。上手に活用していくことで、学習内容をよく理解し、より豊かな学びにしていけるようになります。タブレットを文房具の一つとして上手に・安全に使うためにも、『タブレット型パソコン活用上のルール』を守り、「安心・安全・快適」に活用していきましょう。

1 目的

・学校で貸し出すタブレットは、学習活動のために使うことが目的です。学習活動に関わることにみに使うようにしましょう。

2 使用するとき気をつけること

- ・無くしたり、落としてこわしたり、水にぬらしたりしないように十分気をつけましょう。
- ・持ったまま走ったり、地面やカバンの下においたり、カバンの底に入れないようにしましょう。また、日光の下やストーブの近くなどにはおかないようにしましょう。
- ・水をかけたり、湿気の多いところでは使わないようにしましょう。
- ・画面は指で触れるようにします。えんぴつやペンでふれたり、落書きしたり、磁石をひっつけるなどは絶対にしないようにしましょう。

3 学校で使う場合

- ・学校でタブレットを使うときは、先生の指示をよく聞きましょう。
- ・先生が話をしているときは手を止めて、先生の話をよく聞きましょう。
- ・休み時間や放課後に使う時も、先生が認めたことにのみ使しましょう。



4 家庭で使う場合

- ・登下校中は、タブレットをかばんから出さないようにしましょう。また、紛失・盗難・水没・落下などに注意しましょう。
- ・かばんの中でタブレットがつぶれてしまわないように、入れ方を工夫しましょう。
- ・使用できる時間は、『午前8時から午後9時まで』です。
- ・使用する時間は家の人とよく話し合い、長時間使用せず細かく休けいしながら使しましょう。
- ・就寝する60分前には使用を終了しましょう。
- ・タブレットと一緒に電源コードも持ち帰った後に学校へ持って来るときは、電源コードも忘れずに持参しましょう。

5 保管

- ・学校での保管は、各教室の充電保管庫に入れます。
- ・家庭で保管するときは、家の人の目の届くところに置いておきましょう。

6 健康のために

- ・目の健康を守るために、30分画面を見続けたら、20秒は遠くを見て目を休めましょう。
- ・タブレットを使用するときは、部屋を明るくし、正しい姿勢で、画面に近づきすぎないように気をつけましょう。（目を30cm以上離しましょう）
- ・時々遠くの景色を見るなどして、目を休めましょう。

7 安全な使用

- ・インターネットには制限がかけられていますが、もしもあやしいサイトに入ってしまったときはすぐに画面を閉じ、先生や保護者に知らせましょう。

8 個人情報等

- ・自分が借りているタブレットを他人に貸したり、使わせたりしません。
- ・自分や他人の個人情報（名前や住所、電話番号など）はインターネット上に絶対に書き込んだりしません。
- ・相手を傷つけたり、いやな思いをさせたりすることも絶対に書き込みません。
- ・パスワードは、先生や保護者以外の他人には、絶対教えないようにしましょう。

9 カメラでの撮影

- ・先生が許可した時のみカメラを使いましょう。
- ・カメラで撮影するときは、人が映り込まないように注意しましょう。人が映っている写真を撮影したい場合は、勝手に撮らず、必ず撮影する相手の許可をもらいましょう。

10 データの保存

- ・学校のタブレットで作ったデータやインターネットから取り込んだデータは、学習活動で先生が許可したものだけ保存しましょう。

11 設定の変更

- ・デスクトップのアイコンの並び方や位置、背景の画像、色などタブレットの設定は、勝手に変えないようにしましょう。
- ・関係のない写真や動画を記録したり、アプリを勝手にインストールしたりしないようにしましょう。

1 2 不具合や故障

・タブレット本体やインターネットを使っている、何かおかしいと思ったときは、すぐに先生や保護者に知らせましょう。

1 3 使用の制限

・『タブレット活用のルール』が守れないときは、タブレットの使用を止める場合もあります。

1 4 進級・卒業・転出時

- ・タブレットは卒業まで同じものを使うので、大切に扱きましょう。
- ・アカウントは小学校6年間と中学校3年間の計9年間使い続けるため、他人に伝えないようにしましょう。
- ・木津川市からの貸与となりますので、卒業・市外への転出時には本体・付属品を学校へ返しましょう。

<Microsoft Teamsを使ってオンライン授業などを行うときの注意>

Microsoft Teamsはオンラインでの学習に活用できるアプリです。使用するみんなが上手に、気持ちよく学習に活用できるようにしましょう。

1. 教室の授業と同じように、ルールや注意を守って受けるようにしましょう。
2. 服装や背景にも気を付けましょう。中学生は、制服で参加します。
3. 教科書、資料集、ノート等、必要なものは授業開始時刻までに準備しておきましょう。
4. マイクは、通常OFFにしておき、発言時のみONにしましょう。
5. 質問等がある時は、先生の指示の後にしましょう。もしくは、「挙手ボタン」で伝えて指名を受けてからにしましょう。
6. 授業の様子を自分のスマホで撮影したり、ネット上にアップしたりすることは絶対にしないようにしましょう。
7. インターネット上の書き込みをする前に、読み手が嫌な気持ちにならない・誰かを困らせてしまうことのない内容か、しっかり考えましょう。



○保護者の皆様へ 不具合や故障

- ・ウイルス対策、インターネットのフィルタリングを行っています。
 - ・紛失や故意の破損については、弁償をしていただく場合があります。
- ①故障や破損、盗難、紛失などがあった場合は、速やかに学校に申し出てください。
 - ②盗難及び紛失の場合は、警察に届け出て証明を受けてください。(証明書のコピーを学校に提出していただきます)
 - ③故障や破損の場合、学校を通じて、修理の手配などを行いますので、個人で修理は行わないでください。

インターネットにつなぐとき ～^{まも}守ってほしい、^{たいせつ}大切なこと～

1 パスワードは友達にもヒミツ

家の鍵と同じで、盗ま^{ぬす}れるとパソコンに侵入^{しんにゅう}されて悪用^{あくよう}されます。誕生日^{たんじょうび}など簡単に分^わかるのもダメ。できるだけ長くても複雑なパスワードにしてヒミツの場所に保管^{くわんぱん}するか、先生や保護者と相談^{さうだん}しましょう。



2 困ったら大人に相談しよう

相談^{さうだん}することは悪いことではありません。ここに書いてあるポイントを守^{まも}っていても、悪い人^{わるいひと}が狙^{ねら}ってくることもあります。困^{こま}ったら、1人で悩^{なや}んだりそのままにしたりせず、詳^{くわ}しい人や信頼^{しんらい}できる大人にまずは相談^{さうだん}しましょう。



- 「パスワード」について：長くても複雑^{くわんぱん}なほど盗^{ぬす}まれにくくなります。アルファベットや数字、記号を組み合わせ^{くみあわせ}たものにしましょう。他で使^{つか}っているパスワードと同じものを使い回^{まわ}さないこと。さらに、パソコンやソフトを使うとき（ログインなどと呼ばれます）、パスワードだけでなく、スマホの機能や指紋^{さうもん}認証^{じんし}なども組み合わせ^{くみあわせ}れば、もしパスワードが盗^{ぬす}まれても守^{まも}られます。このように、「あなたしか知らないもの（例：パスワード）」「あなたしか持^もっていないもの（例：スマホに届^{とど}くショートメッセージ）」「あなた自身^{みづかみ}を表^{あらわ}すもの（例：指紋）」といった別の要素^{ようそ}の方法^{はうほう}を組み合わせ^{くみあわせ}てログインすることを「多要素認証^{たようそじんし}」と言い、さらに強く守^{まも}る方法^{はうほう}になります。

「インターネット」が持つ性質

開^{ひら}かれた世界^{せかい}であるインターネットは、次のような点で、閉^とじた世界^{せかい}とは決^{けつ}定的^{ていてい}に違^{ちが}います。

隣の人も世界中の人も、いい人も悪い人も、あなたを見ることができ

あなたから世界中のあらゆる人^{ひと}に開^{ひら}かれていると同時に、世界中のあらゆる人^{ひと}からあなたにも開^{ひら}かれています。これまで出^で会^{かい}わなかったような悪い人^{わるいひと}もいて、あなたを攻撃^{こうげき}してくるかもしれ^しません。



一度流出した情報は永遠に残ってしまう

パソコンやスマホなどにある写真や友達とのやりとりや大事な情報^{じほう}は、一度流出^{りゅうしゅつ}したら、インターネットを通じてあなたの手^ての届^{とど}かない世界^{せかい}の隅^{すみ}々まで広^{ひろ}がります。完全に消^けすのは難^{がた}しく、発信^{はっしん}する前に一^{ひと}回^{かい}手^てを止^とめて考^{かんが}えましょ。



インターネットの「悪い人」は、何をしてくるのか

インターネットの世界^{せかい}で自分^{じぶん}を守^{まも}るには、「悪い人^{わるいひと}」が何をしてくるのか、代^{だい}表^{ひょう}的な攻^{こう}撃^{げき}の手^て段^{だん}を知^しっておくことが有^{いう}効^{けき}です。例^{れい}え^ばパスワードについては、悪い人^{わるいひと}は右^{みぎ}の図^ずのよう^{よう}に見^み破^やってやろうなど考^{かんが}えています。これを見^みると、確^{たしか}かにパスワードは長^{なが}くても複^{くわ}雑^{ざつ}にし、使^{つか}い回^{まわ}してはいけな^いとわ^かりま^す。同^{どう}様^{よう}に、メー^まールを使^{つか}った攻^{こう}撃^{げき}やアッ^あプデ^いー^てされてい^{ない}パソ^こコンへ^の攻^{こう}撃^{げき}など^で悪^{わる}い人^{ひと}が何^{なに}をしてくるのか想^{かんが}像^{ざう}してみ^{ると}、「なぜ」そ^うい^う注^{ちゅう}意^いが必^{かならず}要^いな^いのか^がよ^り分^わか^りや^すく^なり^ます。

